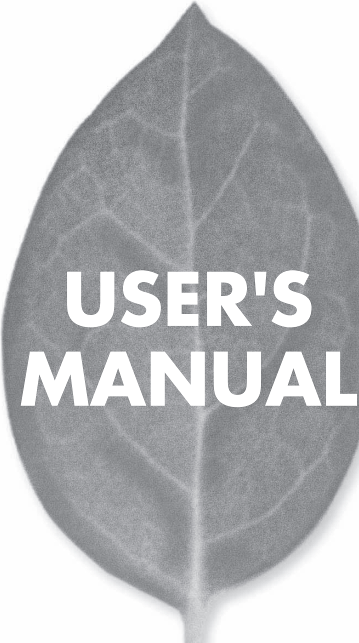


マルチクライアント機能搭載
デジタル家電無線 LAN コンバータ 2 ポート

GW-EC54-2P

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

本製品を安全にご利用いただくために

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧いただき必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、**「感電」「火災」「故障」**などが発生する場合があります。
これによって本製品を利用される方が負傷されたり死亡につながる恐れがあります。また、万一**「発火」「発煙」「溶解」**などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。

⚠ 警告

■ 無線機器に関して

・心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている近くで本製品をご利用にならないでください。
列車内など、人と人が近接する可能性のある場所では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。
これは心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている方と近接することで、万一にでもそれらの機器に影響を与えることを防ぐためです。

・医療機関内でのご利用は各医療機関の案内および指示にしたがってください。
医療機関内では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。これは万一にでも各種医療機器へ影響を与えて事故の原因となる恐れを防ぐためです。本製品の電波出力は規定に沿ったもので、各医療機器への影響は少ないですが、前述の心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各医療機関の案内および指示にしたがってください。詳しくは各医療機関へお問い合わせください。

・交通機関内でのご利用は各交通機関の案内および指示にしたがってください。
交通機関内では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。これは各種交通機関の制御装置や機器などに影響を与える恐れを防ぐためです。特に各航空会社については、航空機の飛行状況などによって、機内での電子機器や無線機器の利用を禁止しています。航空機の装置などへ影響を与えて事故の原因となる恐れがあるため、本製品は機内でご利用にならないでください。詳しくは各交通機関へお問い合わせください。

・電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。
電子レンジを使用するとき、電磁波の影響によって無線通信が妨害される恐れがあります。このため電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。これは電磁妨害によって本製品の通信が途絶えたり速度が遅くなったりなどの動作が不安定になるのを防ぐためです。

■ 設置及び保管に関して

・動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。
範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで本製品をご利用にならないでください。
本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・温度変化の激しい場所で本製品をご利用にならないでください。
動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。
本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください。
コンピュータの取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・本製品を分解、改造しないでください。
本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。

■ 電波に関して

・本製品の無線LANの周波数帯は、医療機器、電子レンジなどの産業・科学機器や工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局と重複しているため、電波の干渉による無線通信の障害が発生する恐れがあります。本製品のご利用の前に、干渉範囲内に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。

・万一、本製品使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波の干渉が発生したときは、速やかに周波数を変更するか使用を中止してください。

・その他、本製品から移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波干渉など何かお困りのことが発生したときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

2.4 DSOF 4

■ 取り扱いに関して

・高温に注意してください。
本製品の使用中は高温になっている恐れがあります。不用意に触ると火傷の恐れがあります。

・湿気やほこりの多いところに保管しないでください。
湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・本製品を重ねて設置しないでください。
本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用にならないでください。
振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用になることで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・静電気に注意してください。
本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分を触れないなどの注意をしてください。

・落下や衝撃に注意してください。
本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

■ その他

・本製品は日本国内でご利用ください。
本製品は日本の国内法のもとで利用可能な製品です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認してください。

・ご利用のコンピュータのデータのバックアップを取得してください。
本製品のご利用にかかわらず、コンピュータのデータのバックアップを定期的に取得してください。万一不測の事態が発生し不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。

■無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

（お客様の権利〈プライバシー保護〉に関する重要な事項です！）

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りをおこなうため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をおこっていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

・通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

・不正に侵入される
悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定をおこなって製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがっておこなってください。
なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

セキュリティ対策を施さず、あるいは無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。
弊社では、お客様がセキュリティの設定をおこなわないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定をおこない、製品を使用することをお奨めします。

使用前に必ずお読みください

■本書の目的

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくお使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

■ご注意

・本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第 3 者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
・通信内容や保持情報の漏えい、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
・ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
・本製品内部のソフトウェア（ファームウエア）更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
・輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
・本製品は日本国内仕様であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。

■著作権等

・本書に関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社へ独占的に帰属します。プラネックスコミュニケーションズ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態及び手段を問わず、本書の記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
・本書の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本書の記述に誤りや欠落があった場合もプラネックスコミュニケーションズ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。
・本書の記述に関する、不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
・本書および記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

目次

●マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。
本マニュアルにおける記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

●記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

第 1 章

はじめに

この章では本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

1 概要

GW-EC54-2P は IEEE802.11b/IEEE802.11g に準拠した無線 LAN アクセスポイントです。本製品は、イーサネットコンバータとしてデジタル家電を無線化したり、アクセスポイント間の無線通信による AP 間通信も可能です。無線 LAN のセキュリティを強化する WPA（Wi-Fi Protected Access）にも対応しており、無線 LAN 環境での第三者からの攻撃や無断アクセスを防ぎます。

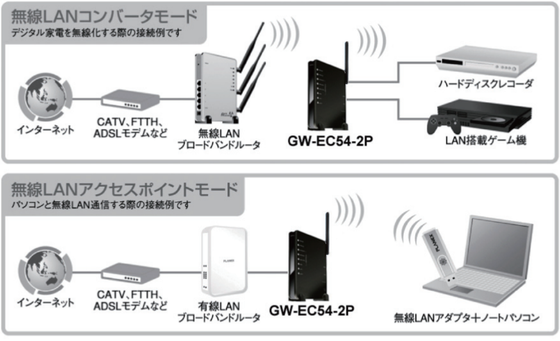


図 1-1　無線 LAN 構築図

2 特長

- IEEE802.11b/IEEE802.11g 準拠
- IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX 準拠
- イーサネットコンバータモードによるデジタル家電の無線化
- IAPP 機能に対応したローミングを実現
- WDS（Wireless Distribution System）準拠の AP 間通信モード搭載
- WPA（Wi-Fi Protected Access）に対応 ※
- Auto-MDI/MDI-X 対応 LAN ポートを 2 ポート装備
- ステータス確認が容易な 7 つの LED を装備
- WEB ブラウザによる簡単設定
- 無線 LAN における MAC アドレスフィルタリングの設定

注意

WPA を使用するときは、無線クライアントおよび、クライアント OS が WPA に対応している必要があります。

3 パッケージ内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

● GW-EC54-2P 本体
● らくらく！かんたん設定ガイド
● アンテナ（1 本）
● AC アダプタ
● LAN ケーブル（UTP ストレート）
● CD-ROM（ユーザーズ・マニュアル）
● 安全に関する説明書
● 保証書

付属品が足りないときは、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

4 各部の名称

■前面

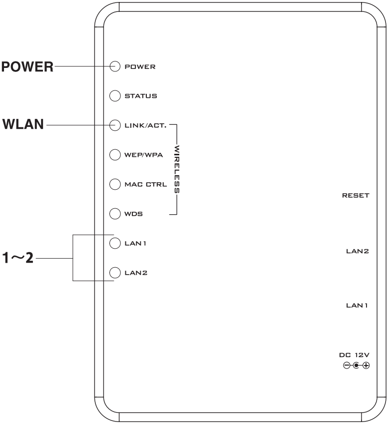


図 1-2　GW-EC54-2P 前面図

本製品前面にはステータスを表示する 7 つの LED を備えています。

名　称	色	状態	説　　明
POWER	**緑**	**点灯**	電源がオンの状態です。
		消灯	電源がオフの状態です。
STATUS	**赤**	**点灯**	起動中です。
		消灯	正常に起動した状態です。
LINK/ACT.	**緑**	**点灯**	無線 LAN が使用できる状態です。
		消灯	無線 LAN が使用できない状態です。
WEP/WPA	**橙**	**点灯**	WEP/WPA が有効な状態です。
MAC CTRL	**橙**	**点灯**	MAC アドレスフィルタリングが有効な状態です。
WDS	**橙**	**点灯**	AP 間通信が有効な状態です。
LAN1 ～ 2	**緑**	**点灯**	LAN ポートでリンクしている状態です。
		点滅	LAN ポートでデータを送受信している状態です。
		消灯	LAN ポートがリンクしていない状態です。

■背面

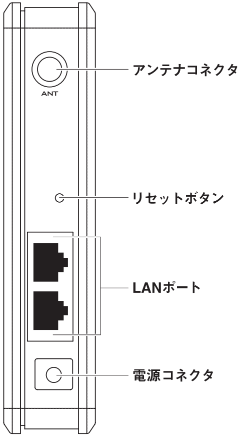


図 1-3　GW-EC54-2P 背面図

「アンテナコネクタ」
付属のアンテナを接続します。

「リセットボタン」
本製品の再起動および初期化を行うためのボタンです。ボタンを押すと再起動します。初期化をおこなうときはボタンを 5 秒以上押し続けた後、離してください。

「LAN ポート」
10BASE-T/100BASE-TX 対応の LAN ポートです。1 ～ 2 ポートすべて Auto-MDI/MDI-X に対応しています。

「電源コネクタ」
付属の AC アダプタを接続します。

■底面

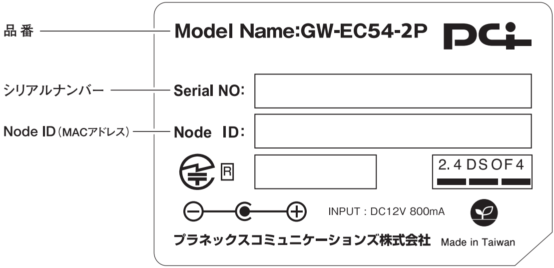


図 1-4　GW-EC54-2P 底面図

「品番」
本製品の製品型番です。

「シリアルナンバー」
本製品のシリアルナンバーです。ユーザー登録時に必要となります。
また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要になります。

「Node ID（MAC アドレス）」
本製品の MAC アドレス（物理アドレス）です。

第 2 章

インストレーション

この章では本製品の設置方法及び接続方法について説明します。

1 設置場所について

本製品を設置する際には必ず以下の点をお守りくださいますようお願いします。

●湿気の多い場所に設置しない。
●チリやほこりの多い場所には設置しない。
●直射日光のあたる場所や温度の高い場所には設置しない。
●内部に熱がこもる原因となるので、周囲にはなるべく空間を空ける。

2 設置

本製品は、デスクトップなどの平らな場所に設置して使用して下さい。

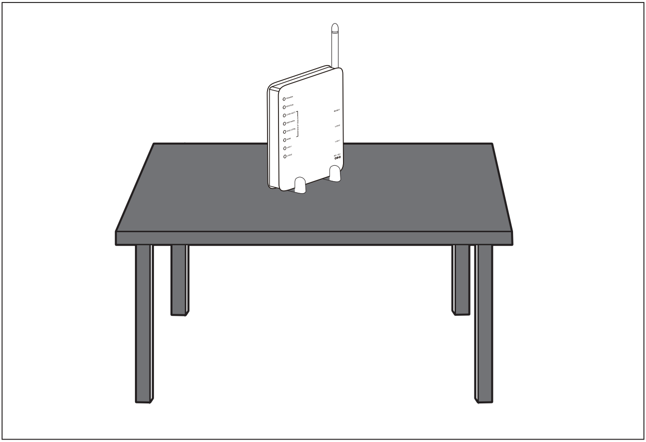


図 2-1　GW-EC54-2P 設置

3 本製品とネットワーク機器の接続

無線 LAN 接続するには、本製品を既存の有線 LAN に接続されているブロードバンドルータまたはハブなどに接続する必要があります。

1. 付属の LAN ケーブルを用意してください。
2. LAN ケーブルの一端をブロードバンドルータまたはハブの LAN ポートに差し込みます。本製品の LAN ポートは結線タイプを自動認識する Auto-MDI/MDI-X に対応しています。接続する LAN ケーブルはストレート、クロスのどちらとも使用できます。
3. LAN ケーブルのもう一端を本製品背面の LAN ポートに接続します。

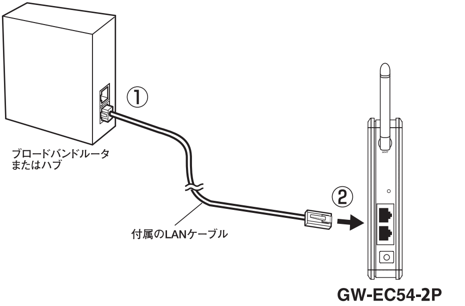


図 2-2　GW-EC54-2P ネットワーク機器との接続

4 電源の接続

1. 本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタを接続します。

2. AC アダプタを AC100V コンセントに接続します。

   付属のショートコードを接続することにより、他のコンセントへの干渉を防ぐことができます。必要に応じて、お使いください。

3. 前面の POWER LED が緑色に点灯します。

AC アダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外の AC アダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外の AC アダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

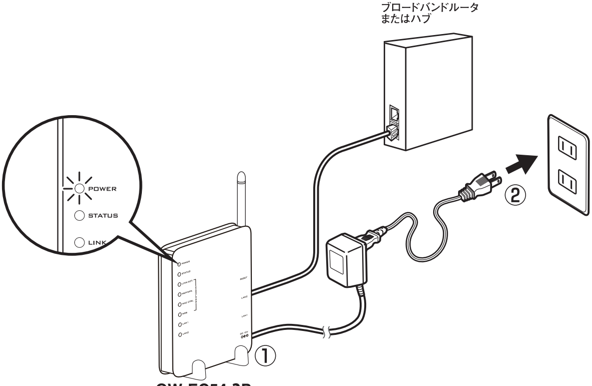


図 2-3　GW-EC54-2P 電源の接続

本製品を設定するための準備

この章では、本製品を設定するための準備について説明します。コンピュータのネットワーク設定を確認し、必要に応じて設定を変更します。

本製品は有線 LAN を使って無線 LAN の設定をおこないます。
設定する前に以下をご用意ください。

■設定用コンピュータ
■ LAN ケーブル

注意

設定用コンピュータに有線 LAN アダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。インストールされていない場合は、LAN アダプタのマニュアルを参照してインストールを行ってください。

1 機器を接続する

1. LAN ケーブルを設定用コンピュータと、本製品背面の LAN ポートへ接続します。

2. 本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタを接続します。

付属のショートコードを接続することにより、他のコンセントへの干渉を防ぐことができます。必要に応じて、お使いください。

3. AC アダプタを AC100V コンセントに接続します。

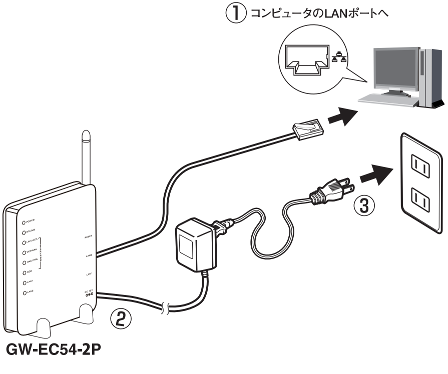


図 3-1　GW-EC54-2P 機器の接続

2 コンピュータのネットワーク設定を行う

設定方法は OS によって異なります。お使いの OS に該当するページをお読みください。

本章から第 4 章にかけて設定用コンピュータの設定が終わりましたら、本章で設定した設定内容を元に戻してください。

■ WindowsVista の場合

注意

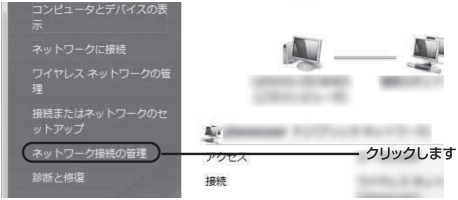
- ●この作業をおこなうにはコンピュータの「管理者」または同等の権限を持つユーザでログオンする必要があります。
- ●以下の操作手順および表示画面は WinodowsVista の初期状態の場合です。WindowsVista の設定によって異なる場合があります。

1.「スタート」－「コントロールパネル」を選択し、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

▼

「ネットワークと共有センター」が表示されます。

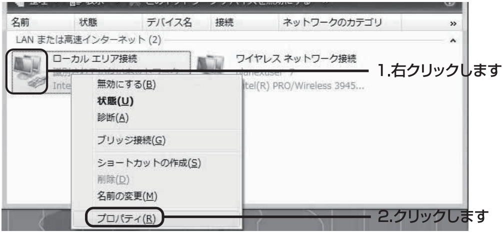
2.「ネットワーク接続の管理」をクリックします。



▼

「ネットワーク接続の管理」が表示されます。

3.「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



▼

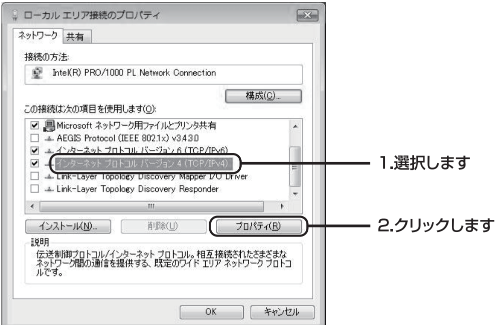
「ユーザーアカウントの制御」が表示されます。

4.［続行］をクリックします。

▼

「ローカルエリア接続のプロパティ」が表示されます。

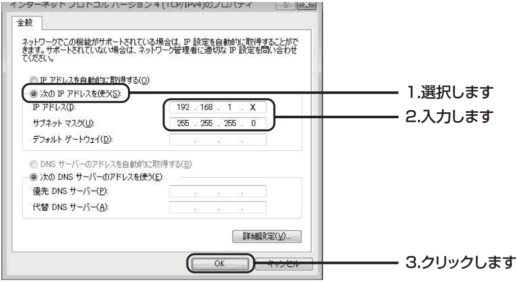
5.「インターネットプロトコル バージョン（TCP/IPv4）」を選択し、［プロパティ］をクリックします。



▼

「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」が表示されます。

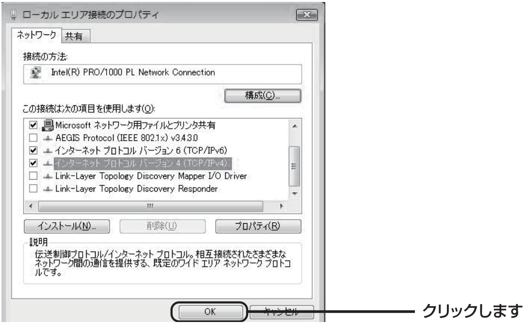
6. 「次の IP アドレスを使う」を選択し、IP アドレスに「192.168.1.x」（x は 1 ～ 99，101 ～ 254 の任意の値）、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します。［OK］をクリックします。



▼

「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ります。

7. ［OK］または［閉じる］をクリックします。



■ WindowsXP の場合

⚠ 注意

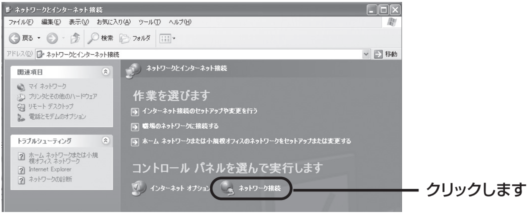
- ●この作業をおこなうにはコンピュータの「管理者」または同等の権限を持つユーザでログオンする必要があります。
- ●以下の操作手順および表示画面は WinodowsXP の初期状態の場合です。WindowsXP の設定によって異なる場合があります。

1. 「スタート」－「コントロールパネル」を選択し、「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

▼

「ネットワークとインターネット接続」が表示されます。

2. 「ネットワーク接続」をクリックします。



▼

「ネットワーク接続」が表示されます。

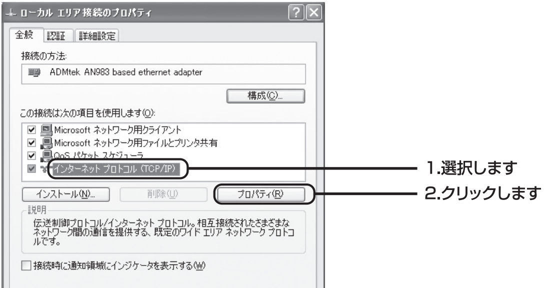
3. 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



▼

「ローカルエリア接続のプロパティ」が表示されます。

4. 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し、［プロパティ］をクリックします。



▼

「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」が表示されます。

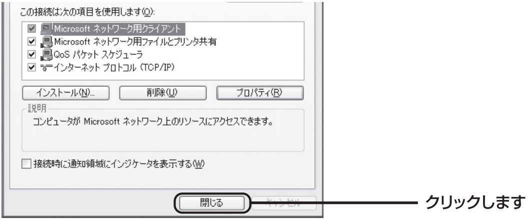
5. 「次の IP アドレスを使う」を選択し、IP アドレスに「192.168.1.x」（x は 1 ～ 99，101 ～ 254 の任意の値）、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します。［OK］をクリックします。



▼

「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ります。

6. ［OK］または［閉じる］をクリックします。



■ Windows 2000 の場合

> **注意**
> この作業をおこなうには「Administrator」または同等の権限を持つユーザでログオンする必要があります。

1. ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

▼

「コントロールパネル」の画面が表示されます。

2. 「ネットワークとダイアルアップ接続」をダブルクリックします。



▼

「ネットワークとダイヤルアップ接続」が表示されます。

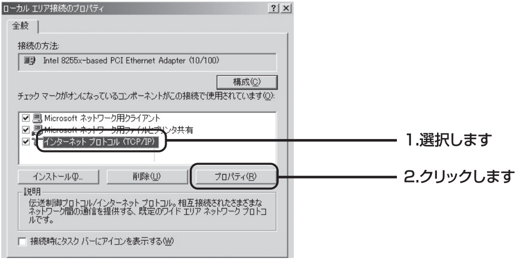
3. 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



▼

「ローカルエリア接続のプロパティ」の画面が表示されます。

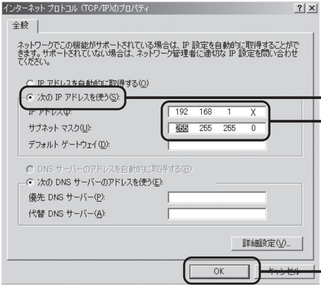
4. 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し、［プロパティ］をクリックします。



▼

「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」が表示されます。

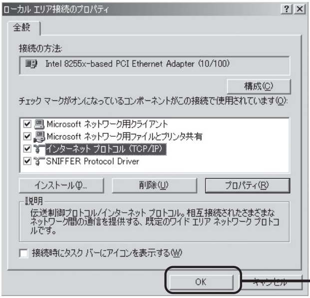
5. 「次の IP アドレスを使う」を選択し、IP アドレスに「192.168.1.x」（x は 1 ～ 99，101 ～ 254 の任意の値）、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します。［OK］をクリックします。



▼

「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ります。

6. ［OK］をクリックします。



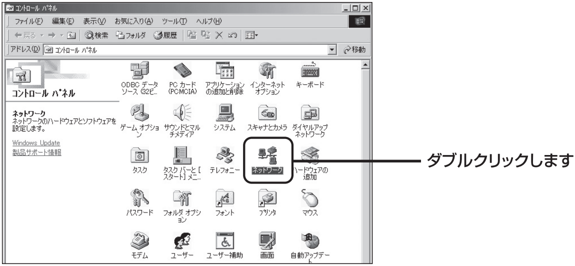
■ **Windows Me/98SE の場合**

1. 「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」を選択します。

▼

「コントロールパネル」が表示されます。

2. 「ネットワーク」をダブルクリックします。

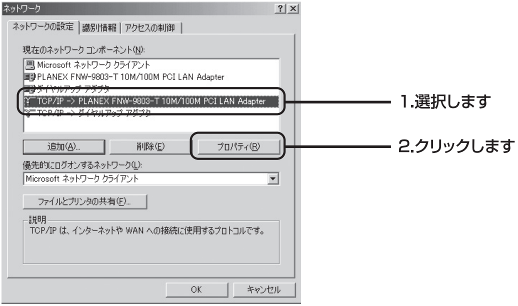


▼

「ネットワーク」が表示されます。

※ WindowsMe で「ネットワーク」が表示されないときは、コントロールパネル左側の「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。

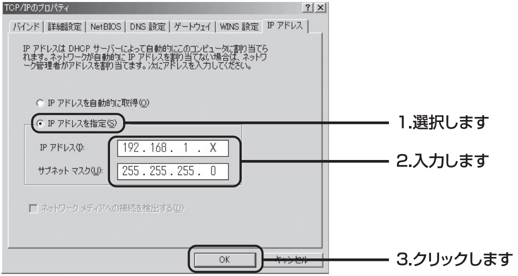
3.「現在のネットワークコンポーネント」欄から「TCP/IP ー>お使いの LAN カード（または LAN ボード）」を選択し、［プロパティ］をクリックします。



▼

「TCP/IP のプロパティ」が表示されます。

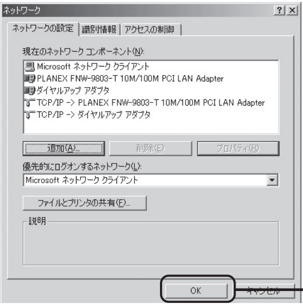
4.「IP アドレス」タブをクリックし、画面内の「IP アドレスの指定」を選択し、IP アドレスに「192.168.1.x」（x は 1 ～ 99，101 ～ 254 の任意の値）、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します。［OK］をクリックします。



▼

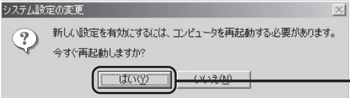
「ネットワーク」に戻ります。

5. ［OK］をクリックします。



クリックします

6. 再起動を要求するメッセージが表示されましたら、［はい］をクリックして、パソコンを再起動します。



クリックします

■ Mac OS X の場合

> **⚠ 注意**
> 表示される画面は Mac OS のバージョンによって異なります。

1. 「アップルメニュー」→「システム環境設定」をクリックします。



クリックします

2.「インターネットとネットワーク」の「ネットワーク」をクリックします。



3. 以下のとおりに設定します。

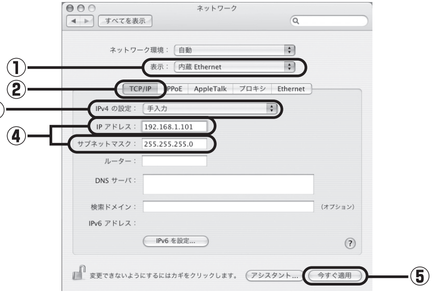
①「表示」から「内蔵 Ethernet」を選びます。

②「TCP/IP」タブをクリックします。

③「IPv4 を設定」から「手入力」を選びます。

④「IP アドレス」に「192.168.1.x」(x は 1 ～ 99、101 ～ 254 の任意の値) と入力し、「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

⑤［今すぐ適用］をクリックします。



4.「設定の変更を適用しますか？」が表示されたときは、［適用］をクリックします。

3

本製品を設定するための準備

第 4 章

本製品を設定する

本製品の設定は、WEB ブラウザから設定画面を開いておこないます。この章では、本製品の各種設定について説明します。

注意

本製品の工場出荷時の IP アドレス設定は以下になります。

IP アドレス：192.168.1.100
サブネットマスク：255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ：192.168.1.1

1 WEB 設定画面を開く

設定用コンピュータと本製品が正しく接続されていることを確認してください（20 ページ参照）。

1. WEB ブラウザのアイコンをダブルクリックし、WEB ブラウザを起動します。

2. アドレスを入力する欄に「192.168.1.100」と入力し、＜ Enter ＞キーを押します。



▼

ログイン画面が表示されます。

3. ユーザー名に「admin」、パスワードに「password」と入力し、［OK］を押します。



2 各設定項目の説明

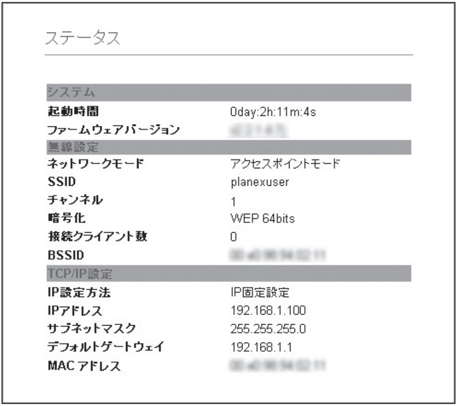
■ステータス

ここでは、本製品のステータス情報が確認できます。
画面上側の「ステータス」をクリックするとメニュー画面が表示されます。



●システム

「ステータス」の「システム」をクリックします。



「起動時間」

本製品の稼働時間が表示されます。

「ファームウェアバージョン」

本製品のファームウェアのバージョンが表示されます。

「ネットワークモード」
現在の無線の動作モードが表示されます。

「SSID」
現在の SSID が表示されます。

「チャンネル」
現在のチャンネルが表示されます。

「暗号化」
現在の暗号化の状態が表示されます。

「接続クライアント数」
現在の接続されているクライアント数が表示されます。

「BSSID」
現在の BSSID が表示されます。

「IP 設定方法」
現在の IP アドレスの設定方法が表示されます。

「IP アドレス」
現在の IP アドレスが表示されます。

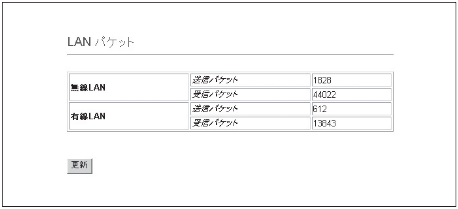
「サブネットマスク」
現在のサブネットマスクが表示されます。

「デフォルトゲートウェイ」
現在のデフォルトゲートウェイが表示されます。

「MAC アドレス」
本製品の MAC アドレスが表示されます。

● LAN パケット

「ステータス」の「LAN パケット」をクリックします。



無線 LAN

「送信パケット」

無線 LAN の送信パケット数が表示されます。

「受信パケット」

無線 LAN の受信パケット数が表示されます。

有線 LAN

「送信パケット」

有線 LAN の送信パケット数が表示されます。

「受信パケット」

有線 LAN の受信パケット数が表示されます。

●無線 LAN クライアント情報

「ステータス」の「クライアント情報」をクリックします。



「MAC アドレス」

本製品に接続している無線 LAN クライアントの MAC アドレスが表示されます。

「送信パケット」

送信したパケット数が表示されます。

「受信パケット」

受信したパケット数が表示されます。

「送信レート（Mbps）」

現在の送信レートが表示されます。

「パワーセーブモード」

現在のパワーセーブモードの状態が表示されます。

「切断時間（秒）」

自動切断までの残り時間が表示されます。

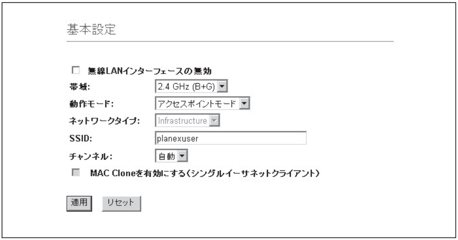
■無線設定

ここでは、本製品の無線に関する設定ができます。
画面上側の「無線設定」をクリックするとメニュー画面が表示されます。



●基本設定

「無線設定」の「基本設定」をクリックします。
設定を変更したときは、［適用］をクリックします。



「無線 LAN インタフェースの無効」

本製品の無線機能を無効にするときチェックをつけます。

「帯域」

本製品に接続している無線 LAN の帯域を設定します。

【2.4 GHz (B)】
IEEE802.11b で無線 LAN 接続するとき選択します。

【2.4 GHz (G)】
IEEE802.11g で無線 LAN 接続するとき選択します。

【2.4 GHz (B+G)】
IEEE802.11b にしか対応していない無線 LAN 端末が混在している環境のとき選択します。

「動作モード」

本製品の動作モードを選択します。

【アクセスポイントモード】

アクセスポイントとして動作します。無線クライアントをインフラストラクチャモードで接続するときはこちらを選択してください。

【イーサネットコンバータ】

クライアントとして動作します。本製品とクライアントを LAN ケーブルで接続し、イーサネットコンバータとして利用するときはこちらを選択してください。

【ブリッジモード】

ブリッジとして動作します。本製品をブリッジとして使用するときはこちらを選択してください。

【リピーターモード】

リピータとして動作します。本製品をリピータとして使用するときはこちらを選択してください。

「ネットワークタイプ」

イーサネットコンバータとして動作するときに、使用するネットワークタイプを設定します。インフラストラクチャ / アドホックから選択します。

【インフラストラクチャ】

インフラストラクチャとは、無線 LAN 端末が無線アクセスポイントを介して相互通信やインターネット接続をおこなうネットワークタイプです。

【アドホック】

アドホックモードとは、無線 LAN 端末が無線アクセスポイントを介さずに相互に直接通信するネットワークタイプです。

「SSID」

SSID は無線ネットワークのアクセス制御用の識別名です。無線ネットワークでは同一の SSID を設定した機器同士のみが接続します。本製品と接続するすべての無線ネットワーク機器は同じ SSID に設定してください。半角英数字 32 文字以内で入力します。初期設定は「planexuser」です。

「チャンネル」

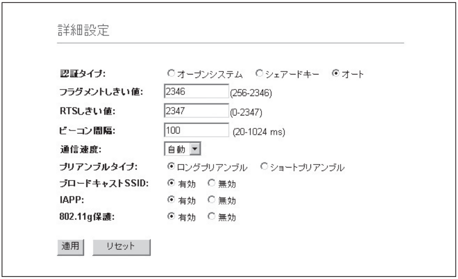
無線 LAN で使用するチャンネルを自動 /1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14 から選択します。「自動」を選択したとき、使用するチャンネルを自動的に決定します。

「MAC Clone を有効にする（シングルイーサネットクライアント）」

「動作モード」が「イーサネットコンバータ」のとき、「有効」にすることができます。「有効」にしたとき、任意の「クローン MAC アドレス」を入力してください（55 ページ参照）。
「有効」にするときは、IP アドレスは手動で取得してください。

●詳細設定

「無線設定」の「詳細設定」をクリックします。
設定を変更したときは、［適用］をクリックします。



「認証タイプ」
本製品の認証タイプを選択します。

【オープンシステム】
WEP キーの有無にかかわらず認証をおこない通信します。

【シェアードキー】
WEP キーを利用し認証をおこない、同じ WEP キーをもってるときのみ通信ができます。

【オート】
接続先の認証タイプにあわせて自動的に認証をおこないます。

「フラグメントしきい値」
パケットの分割サイズを指定します。ここで指定されたサイズより大きいサイズのパケットは、ここで指定したサイズのパケットに分割されます。電波状態が悪いときや接続クライアントが多い場合には、この値を小さくすることで改善されますが、オーバーヘッドが増えるためにスループットは下がります。通常はデフォルト値を推奨します。

「RTS しきい値」
ここで指定されたサイズ以上のパケットを送信するときに RTS（Request To Send）を送信します。同一のアクセスポイントに接続するクライアントが多く、クライアントが相互に認識されない状態（隠れ端末）のときにはここの値を小さくすることで改善されます。通常はデフォルト値を推奨します。

「ビーコン間隔」
アクセスポイントのビーコン間隔をミリ秒単位で設定します。ビーコン間隔を小さくすると、クライアントの接続効率が上がりますが、通信効率が下がります。通常はデフォルト値を推奨します。

「通信速度」

本製品で使用する送信速度を自動 /54/48/36/24/18/12/9/6/ 11/5.5/2/1 Mbps から選択します。「自動」を選択したときは常に最適な送信速度を自動的に設定します。

「プリアンブルタイプ」

本製品のプリアンブルタイプをロングプリアンブル / ショートプリアンブルから選択します。ショートプリアンブルはロングプリアンブルに比べ多少高性能ですが、すべての無線 LAN 端末と互換性をもっているわけではありません。ロングプリアンブルは普遍的な互換性を持っています。

「ブロードキャスト SSID」

「無効」にチェックすることにより、本製品が定期的に送出するビーコンに、SSID を含めないようにし、ビーコン受信による SSID の漏洩や第三者による無線アクセスポイントの探索を防止します。

「IAPP」

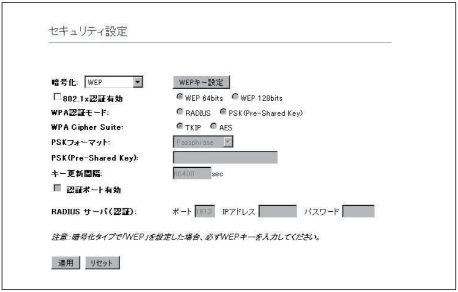
「有効」にチェックすることで、無線 LAN 端末の移動にともないアクセスポイントを切り換え（ローミング）、新しく移動してきた無線 LAN 端末の情報をローミング元のアクセスポイントへ送信します。ただし、ローミング先とローミング元で同じ認証を採用していることが必要です。

「802.11g 保護」

「有効」にチェックすることで、802.11b と 802.11g の相互干渉やネットワークパフォーマンスの低下を防ぎます。

●セキュリティ

「無線設定」の「セキュリティ」をクリックします。
設定を変更したときは［適用］をクリックします。ここで設定するセキュリティは、本製品に接続するすべての無線ネットワーク機器も同じような設定にしてください。



「暗号化」

本製品の暗号化を無効 /WEP/WPA（TKIP）/WPA2(AES)/WPA2 Mixed から選択します。WEP または WPA を選択したときは、それぞれの該当する項目を設定する必要があります。

【無効】

本製品で暗号化をおこないません。

【WEP】

暗号化に 64bit/128bit WEP を使用します。WEP を使用するときは［WEP キー設定］をクリックし、WEP キーの詳細設定をおこなってください。

[無線WEP-Key設定]

キー長	「64-bit」「128-bit」から選択します。セキュリティ強度をより高めたいときは「128-bit」を選択してください。
キーフォーマット	「Ascii（文字列）」「Hex（16進数）」から選択します。「Ascii（文字列）」はWEPキーをAscii文字（半角英数字・記号）で入力します。「Hex（16進数）」は16進数（0〜9・A〜F）で入力します。
デフォルトキー	「Key1」〜「Key4」から有効にしたいWEPキーを選択します。
Wepキー1〜4	WEPキーを入力します。入力できる文字数は選択した「キー長」「キーフォーマット」により異なります。

【WPA（TKIP）】

暗号化に WPA（Wi-Fi Protected Access）を使用します。暗号化方式は TKIP、認証方式は 802.1x/PSK に対応します。ここを選択したときは「WPA 認証モード」以下の各項目を設定してください。

【WPA2（AES）】

暗号化に WPA2（Wi-Fi Protected Access 2）を使用します。暗号化方式は AES、認証方式は 802.1x/PSK に対応します。AES は TKIP よりも強固な暗号化方式です。ここを選択したときは「WPA 認証モード」以下の各項目を設定してください。

【WPA2 Mixed】

暗号化方式に TKIP と AES の両方に対応します。ここを選択したときは「WPA 認証モード」以下の各項目を設定してください。

「802.1x 認証有効」

認証時に 802.1x を使用するときチェックします。ここをチェックしたときは、「RADIUS サーバ（認証）」の各項目を設定してください。

【WEP 64bits】

WEP キーのキー長を「64bit」に設定するとき選択します。

【WEP 128bits】

WEP キーのキー長を「128bit」に設定するとき選択します。

「WPA 認証モード」

WPA の認証モードを RADIUS または PSK から選択します。RADIUS を選択したときは「RADIUS サーバ（認証）」の設定をおこなってください。PSK を選択したときは「PSK フォーマット」「PSK（Pre-Shared Key）」「キー更新間隔」の設定をおこなってください。

【RADIUS】

認証モードに RADIUS を選択したときは、無線クライアントがアクセスポイントに接続しようとすると、あらかじめ設定してある認証方式を使用し、アクセスポイントに自分の ID とパスワードを通知します。クライアントからの情報を受け取ったアクセスポイントは、これを RADIUS サーバに転送しクライアントの認証をおこないます。本製品が対応してるクライアントの認証方式は EAP-MD5 と EAP-TLS になります。

【PSK（Pre-Shared Key）】

認証モードに「PSK（Pre-Shared Key）」を選択したときは、あらかじめクライアントとアクセスポイントに設定してある Pre-Shared Key と呼ばれる共通鍵を使用して認証をおこないます。

「WPA Cipher Suite」

WPA では以下の暗号化形式のいずれかを選択し設定します。

【TKIP】

TKIP（Temporal Key Integrity Protocol）暗号化形式に設定します。

【AES】

AES（Advanced Encryption Standard）暗号化形式に設定します。

「PSK フォーマット」

PSK は以下のフォーマットのいずれかを選択して設定します。

【Passphrase】

半角英数字・記号 8 文字以上 64 文字以内で入力します。

【Hex (16 進数)】

半角英数字 64 文字を 16 進数（0 ～ 9・A ～ F）で入力します。

「PSK（Pre-Shared Key）」
PSK を選択した PSK フォーマットにしたがって入力します。

「キー更新間隔」
TKIP または AES で暗号化に利用するキーの更新間隔を入力します。

「認証ポート有効」※
※この機能については、動作保証はしておりません。

「RADIUS サーバ（認証）」
RADIUS サーバに関する設定を行います。

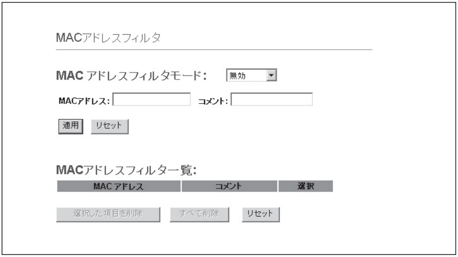
【ポート】
使用するポート番号を入力します。初期値は 1812 になります。

【IP アドレス】
認証サーバが設定してある RADIUS サーバの IP アドレスを入力します。

【パスワード】
認証サーバとの認証に使用するパスワードを入力します。

● MAC アドレスフィルタ

「無線設定」の「MAC アドレスフィルタ」をクリックします。



「MAC アドレスフィルタモード」

MAC アドレスフィルタモードを設定します。動作モードが「アクセスポイントモード」「リピーターモード」のとき、設定できます。

【無効】

MAC アドレスフィルタを無効にします。

【許可リスト】

「MAC アドレスフィルタ一覧」に登録されている MAC アドレスを持つ機器との間で通信をおこないます。

【拒否リスト】

「MAC アドレスフィルタ一覧」に登録されている MAC アドレスを持つ機器との通信を拒否します。

「MAC アドレス」

登録する MAC アドレスを入力し、［適用］をクリックします。コメント欄にコメントを入力することもできます。登録できる MAC アドレスは最大 20 件になります。

「MAC アドレスフィルター覧」

本製品に登録した MAC アドレスは MAC アドレスフィルター覧に表示されます。

「選択した項目を削除」

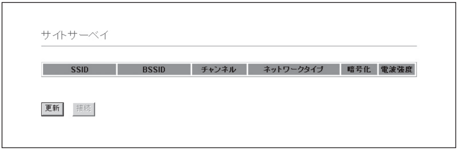
「MAC アドレスフィルター覧」から削除する MAC アドレスを「選択」欄にチェックして選択します。［選択した項目を削除］をクリックし［OK］をクリックすると、選択した MAC アドレスは削除されます。

「すべて削除」

登録した MAC アドレスを全て削除するときは、［すべて削除］をクリックし［OK］をクリックします。

●サイトサーベイ

「無線設定」の「サイトサーベイ」をクリックします。



本製品の動作モードを「イーサネットコンバータ」にしたとき、本製品から接続可能な無線ネットワークを表示します。

「更新」

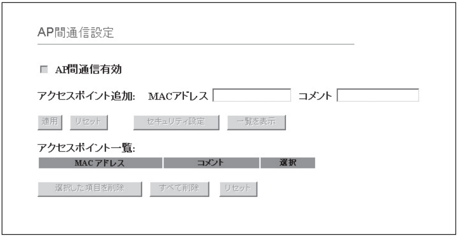
サイトサーベイの更新をするとき、クリックします。

「接続」

サイトサーベイから接続する無線ネットワークを選択し、接続先とセキュリティ設定（45 ページ参照）が同じであることを確認して、[接続] をクリックします。選択した無線ネットワークに接続されます。

● AP 間通信

「無線設定」の「AP 間通信」をクリックします。



「AP 間通信有効」

複数の本製品と接続する AP 間通信をおこなうときにチェックします。本製品の動作モードが「ブリッジモード」「リピーターモード」のとき AP 間通信をおこなうことができます。AP 間通信を有効にしたとき、登録した MAC アドレスを持つ本製品および無線クライアントと通信をおこないます。

「アクセスポイント追加」

接続するアクセスポイントの MAC アドレスを「MAC アドレス」欄に入力し［適用］をクリックします。コメント欄にコメントを入力することもできます。MAC アドレスは 8 つまで登録できます。

「セキュリティ設定」

無線 LAN のセキュリティを設定します。セキュリティを設定したとき、接続先のアクセスポイントも同じ設定にしてください。

【暗号】

暗号化方式を選択します。「None」「WEP 64bits」「WEP 128bits」「WPA（TKIP）」「WPA2（AES）」の順でセキュリティが向上します。

【WEP Key フォーマット】

「暗号」で「WEP 64bits」「WEP 128bits」を選択したとき、WEP キーの入力フォーマットを「Ascii（5 characters）」「Hex（10 characters）」から選択します。

【WEP Key】

WEP キーを入力します。「WEP Key フォーマット」で「Ascii（文字列）」を選択したときは、Ascii 文字（半角英数字・記号）で入力します。「Hex（16 進数）」を選択したときは、16 進数（0 ～ 9・A ～ F）で入力します。入力する文字数は選択した WEP のビット数やキーフォーマットにより異なります。

【Pre-Shared Key フォーマット】

「暗号」で「WPA（TKIP）」「WPA2（AES）」を選択したとき、PSK（Pre-Shared Key）のフォーマットを選択します。「Passphrase」は半角英数字・記号 8 文字以上 64 文字以内で入力します。「Hex（64 characters）」は半角英数字 64 文字を 16 進数（0 ～ 9・A ～ F）で入力します。

【Pre-Shared Key】

選択した「Pre-Shared Key フォーマット」にしたがって PSK（Pre-Shared Key）を入力します。入力できる文字数は、選択した「Pre-Shared Key フォーマット」により異なります。

「一覧を表示」

接続先のアクセスポイントの一覧が表示されます。［更新］をクリックすると、情報が更新されます。

「選択した項目を削除」

「アクセスポイント一覧」から削除するアクセスポイントを「選択」欄にチェックして選択します。［選択した項目を削除］をクリックし［OK］をクリックすると、選択したアクセスポイントは削除されます。

「すべて削除」

登録したアクセスポイントを全て削除するときは、「すべて削除」をクリックし、［OK］をクリックします。

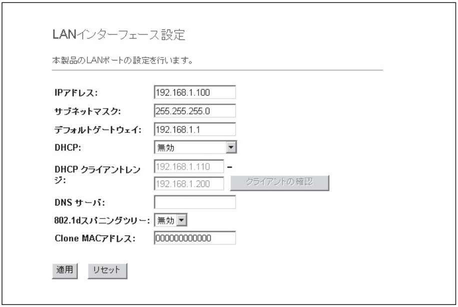
■ TCP/IP

ここでは、本製品の有線 LAN に関する設定ができます。
画面上側の「TCP/IP」をクリックするとメニュー画面が表示されます。



● IP アドレス設定

「TCP/IP」の「IP アドレス設定」をクリックします。
設定を変更したときは、［適用］をクリックします。



「IP アドレス」

本製品の IP アドレスを入力します。工場出荷時は「192.168.1.100」に設定されています。

「サブネットマスク」

本製品のサブネットマスクを入力します。工場出荷時の設定では「255.255.255.0」に設定されています。

「デフォルトゲートウェイ」
本製品のデフォルトゲートウェイを入力します。工場出荷時の設定では「192.168.1.1」に設定されています。

「DHCP」
本製品の IP アドレスを DHCP サーバから自動取得するときは、「DHCP クライアント」を選択してください。「無効」を選択したときは、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力する必要があります。「DHCP サーバ」を選択したとき、DHCP サーバ機能が有効になります。通常は「無効」に設定することをお勧めします。

「DHCP クライアントレンジ」
「DHCP サーバ」を選択したとき、割り当て可能な IP アドレスの範囲を指定します。

【クライアントの確認】
クライアント機器の「IP アドレス」「MAC アドレス」「制限時間オーバー」が表示されます。

「DNS サーバ」
DNS IP アドレスを入力します。

「802.1d スパニングツリー」
ネットワークがループ状に形成されているとき、「有効」にチェックすることにより、データが無限に循環するのを防ぐことができます。

「CloneMAC アドレス」
MAC Clone を有効にしたとき（42 ページ参照）、任意の MAC アドレスを入力します。

■**管理設定**
ここでは、本製品の管理に関する設定ができます。
画面上側の「管理設定」をクリックするとメニュー画面が表示されます。



●**ファームウェアのアップデート**
「管理設定」の「ファームウェアのアップグレード」をクリックします。

ファームウェアのアップデートをおこないます。最新のファームウェア情報は弊社ホームページ http://www.planex.co.jp/ をご覧ください。
アップデートをおこなうときは以下の手順でおこないます。



1. 弊社ホームページからアップデートするファームウエアファイルをコンピュータに保存します。

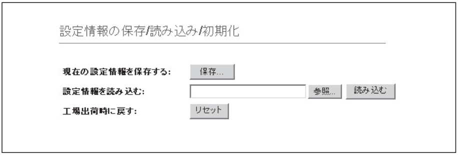
2. ［参照］をクリックして、保存したファームウエアファイルを選択します。

3. ［開く］をクリックします。

4. ［実行］をクリックし、［OK］をクリックします。

●設定情報の保存 / 読み込み / 初期化

「管理設定」の「設定情報の保存 / 読み込み / 初期化」をクリックします。



「現在の設定情報を保存する」

設定情報をコンピュータへ保存します。

1. ［保存］をクリックします。

▼

「ファイルのダウンロード」が表示されます。

2. 「保存」をクリックします。

▼

「名前を付けて保存」が表示されます。

3. 保存先を選択し、「ファイル名」欄に保存する名前を入力します。

4. ［保存］をクリックします。

▼

「ダウンロードの完了」が表示されます。

5. ［閉じる］をクリックします。

「設定情報を読み込む」

保存してある本製品の設定情報の読み込みをおこないます。

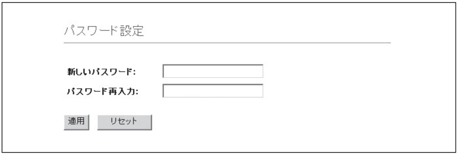
1. ［参照］をクリックして、保存してある設定情報の config ファイルを選択します。
2. ［開く］をクリックします。
3. ［読み込む］をクリックします。
4. ［OK］をクリックします。

「工場出荷時に戻す」

本製品を工場出荷時の状態に戻すときは、［リセット］をクリックし、［OK］をクリックします。

●パスワード

「管理設定」の「パスワード」をクリックします。
設定を変更したときは、［適用］をクリックします。



ログイン画面で使用するパスワードを設定します。

「新しいパスワード」
新しいパスワードを半角英数字 30 文字以内で入力します。

「パスワード再入力」
確認のため再度パスワードを入力します。

> **⚠ 注意**
> 入力したパスワードは必ずメモをとって大切に保管してください。万が一パスワードを忘れたときは、初期化をおこなって（13 ページ参照）、本製品を再度設定し直してください。

●**ログ**

「管理設定」の「ログ」をクリックします。
設定を変更したときは、［適用］をクリックします。



「ログ有効」

ログ情報を表示させるとき、チェックマークをつけます。

「システム全体」

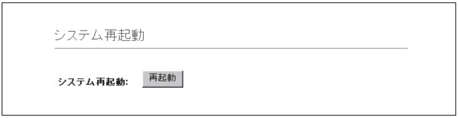
システム全体のログ情報を表示します。

「無線のみ」

無線 LAN のログ情報を表示します。

●システム再起動

「管理設定」の「システム再起動」をクリックします。



「再起動」

本製品を再起動するとき、[再起動］をクリックします。「再起動中です。お待ちください。」が表示されます。そのまましばらくお待ちください。

設置環境への注意

無線 LAN はケーブルの配線や工事等が必要ないため、誰でも簡単に使用することが可能ですが、設置場所または通信したい端末との間に以下の物質を使用した遮蔽物がある場合は、転送速度の低下あるいは通信できないなどの問題が生じます。安定した通信をおこなうにはできる限りこれらの環境要因を避けて設置してください。

環境要因	転送距離への影響 （＊が多いほど、影響が大きいことを表します。）	具体例
空気	＊	ー
石材	＊＊	木材の仕切り
石膏	＊＊	仕切り壁
合成素材	＊＊	ベニヤ板の仕切り
ガラス	＊＊	窓ガラス
水	＊＊＊	湿った木材
煉瓦	＊＊＊	煉瓦壁
大理石	＊＊＊＊	石壁
セメント コンクリート	＊＊＊＊	床、壁
防弾ガラス	＊＊＊＊	哨舎
鉄	＊＊＊＊＊	鉄の仕切り 強化コンクリート壁

仕様

型番	GW-EC54-2P
無線部	
サポート規格	IEEE802.11b IEEE802.11g
伝送方式 ※ 1	IEEE802.11b ：直交周波数分割多重変調（DSSS 方式） IEEE802.11g ：直接拡散型スペクトラム拡散（OFDM 方式）
周波数（中心周波数）	IEEE802.11b ：2.412 ～ 2.484GHz IEEE802.11g ：2.412 ～ 2.472GHz
チャンネル	IEEE802.11b ：1 ～ 14ch IEEE802.11g ：1 ～ 13ch
伝送速度	IEEE802.11b ：11/5.5/2/1 Mbps、自動認識 IEEE802.11g ：54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps、自動認識
通信モード	アクセスポイントモード ：インフラストラクチャモード イーサネットコンバータ ：インフラストラクチャモードまたはアドホックモード ブリッジモード：AP 間通信（最大登録数 8 個） リピータモード：インフラストラクチャモード AP 間通信（WDS、最大登録数 8 個）
セキュリティ	WEP 64/128bit（16 進数 / 文字列） WPA（暗号化方式：TKIP/AES、認証方式：PSK/802.1X） WPA2（暗号化方式：AES、認証方式：PSK/802.1X） MAC アドレスフィルタリング（許可 / 拒否、最大登録数 20 個） SSID 通知（有効 / 無効）
アンテナ方式	2dbi ダイポールアンテナ
有線部	
サポート規格	IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX） Auto MDI/MDI-X
ポート数	LAN × 2（RJ-45）：10BASE-T/100BASE-TX
伝送速度	10/100Mbps
ネットワークケーブル	UTP/STP LAN ケーブル 10Mbps：カテゴリ 3 以上、100Mbps：カテゴリ 5 以上
共通	
LED	Power、WLAN、LAN1、LAN2
対応 OS	Windows Vista/XP/2000/Me/98SE、Mac OSX
各種設定	WEB ブラウザ
動作温度	0 ～ 40℃
動作湿度	35 ～ 80%（結露しないこと）
外形寸法	158（W）× 27（H）× 106（D）mm（アンテナ部除く）
重量	約 202g（本体のみ）
消費電力	10W
AC アダプタ	入力：AC100V 50/60Hz 36VA 出力：DC12V
保証期間	1 年

■注意事項

※AP 間通信は同一機種のみ可能です。
※IEEE802.1X は、外部 RADIUS サーバが別途必要です。
※表示の数値は、無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
※アドホックモードでの利用は IEEE802.11b に限られます。アドホックモード時の無線 LAN セキュリティは WEP のみとなります。
※WPA/WPA2 を利用するためには、接続する無線 LAN 機器も WPA または WPA2 に対応している必要があります。
※WEB ブラウザによる設定の際に、一部のブラウザでは正常に表示できない場合があります。
※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
最新情報は、弊社ホームページ（http://www.planex.co.jp）を参照ください。

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録をおこなってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録をおこなって戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

http://www.planex.co.jp/user/

弊社へのお問い合わせ

■弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様または PLANEX DIRECT で。
ケーブル 1 本からレイヤ 3 スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

〈PLANEX DIRECT〉
http://direct.planex.co.jp/

■製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。
ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

〈ご質問 / お見積もりフォーム〉
http://www.planex.co.jp/lan.shtml

■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

〈お問い合わせフォーム〉
http://www.planex.co.jp/support/techform/
受付：24 時間
〈電話〉
フリーダイヤル：0120-415977
受付：月～金曜日、10 ～ 12 時、13 ～ 17 時
＊祝祭日および弊社指定の休業日を除く
〈FAX〉
ファクス番号：03-5766-1615
受付：24 時間

◇お問い合わせ前のお願い

サポートを円滑におこなうため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。
お客様のご協力お願いいたします。

・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名（Windows XP/Me など）
・ご利用のネットワークの環境（回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など）
・ご質問内容（現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください）

■その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

プラネックスコミュニケーションズ
http://www.planex.co.jp/

注）上記内容は 2007 年 3 月現在の情報です。内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

質問表

技術的なご質問は、この 2 ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記 FAX 番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行

FAX：03-5766-1615

送信日：＿＿＿＿＿＿＿＿

会社名			
部署名			
名前			
電　話		ＦＡＸ	
E-MAIL			

製品名	マルチクライアント機能搭載デジタル家電無線 LAN コンバータ 2 ポート
型番 Product No.	**GW-EC54-2P**
製造番号 Serial No.	

① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

② OS

OS		バージョン

③ 質問内容

プラネックスコミュニケーションズ株式会社